

宍粟市秘書広報課 御中

平成 25 年 10 月 7 日

市民オンブズマンの会「オープンしろう」

ごみ収集に関する提案書

(提案の目的)

にしはりまクリーンセンターを利用している自治体は佐用町、上郡町、宍粟市、たつの市(新宮)、姫路市(安富)である。分別収集を他の自治体と比較すると、宍粟市民の負担が高いため、それを軽減することを目的とした。

(分別収集の問題点)

- ・宍粟市のビン類の分別は無色透明、茶色、その他の色となっているが、新宮はビン類の分別を行っていない。
- ・宍粟市民はビン類の分別の際、ラベルを剥がすものだと思っている。
- ・宍粟市だけが、缶類の分別をスチール缶とアルミ缶に分けている。
- ・宍粟市の資源ごみ専用の指定袋は、プラマークが入っていない為、プラとして処理されていない。

「質問1」

どうして各自治体が統一された分別収集方法でないのでしょうか

「質問2」

同じ施設を利用するに際し、自治体毎に異なった分別収集が良いのでしょうか

「質問3」

今後も、自治体毎の統一されない分別収集を続けるのですか

「質問4」

宍粟市の資源ごみ専用の袋は、なぜ、プラマークが入っていないのですか

宍粟市の資源ごみ専用袋だけが、選別ラインで取り除かれ可燃ごみにまわされているのですが、なぜですか

「質問5」

資源ごみの収益金はどうなっているのですか

「質問6」

宍粟市のごみ収集業務に関して、民間業者は何社で、契約金はどのくらいですか
また、収集の種類と範囲をお教えてください。

「質問7」

直営(車3台担当者6人)の経費と収集の種類と範囲をお教えてください。

(提案)

1、缶類はスチール缶とアルミ缶混合で出す。または、アルミ缶は宍粟市独自の回収を行う。

缶磁選機が選別を行うので、混合でも問題はない為、分別を行う市民の負担が軽減される。また、宍粟市以外の自治体は混合で出している。

または、回収したアルミ缶はクリーンセンターに持ち込まず、障害者施設などへ回し、宍粟市民の負担分を市内に還元する。

2、ビン類は、ラベルを剥がさなくてもよいと広報を行う。

びんは高熱で溶かすのでラベルがあっても問題ありませんとのクリーンセンターの回答を得ている為

3、宍粟市の資源ごみ専用の指定袋は、プラマーク入りの袋にする。

プラマーク入りの袋でないとプラ製容器包装を資源ごみ袋に入れても、その袋を取り除かないといけないことになる。住民は、分別の負担と指定袋の購入を行っているが、プラマーク入りの袋にしていない事は再資源化に逆行することである為

または、専用袋を使わず任意の透明のごみ袋(安価でかつリサイクルに回る)ものを使用する。

4、ペットボトル、缶、ビンはコンテナ回収にする。

種類毎にごみを置く場所を確保することが大変な負担になっている。袋が一杯になるまで置いておかねばならず、場所を取るのも不便である。わずかな量でも出せるコンテナ回収が住民にとって負担軽減になる。

(提案による効果)

現状は、ごみを17分類に分ける作業による労力負担が大きい為、1種類でも少なくすることで負担軽減になる。また、各家庭は、分別でごみを置くために広く場所を取られている。その場所の減少効果がある。

以上

質問及び提案に対する回答を11月8日までにメールか郵送でお願い申し上げます。